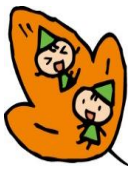
なかたまの学び舎

園だより　11月

令和７年１１月号
世田谷区立中町幼稚園
園長　佐藤幸子



改めて･･･運動会って

園長　佐藤　幸子

キンモクセイの香りを感じるようになりました。今まではもう少し早い時期に、香りが届いたように思います。気候変動の影響を受け気温が高いほど開花時期が遅くなると言われているようです。植物も、年々暑くなる夏に対応して、開花時期を調整し“もう香りを届けていいかな”と、開花の時期を待っているのでしょう。少し遅くなっても、ちゃんと開花するのです。植物の営みは素晴らしいですね。

運動会が終わって翌日の新聞に、“運動会　変わる時代の映し鏡”と大きな見出しがありました。内容は、“運動会が広がり始めて100年が経つ。そのかたちは、時代やニーズに応じて変化し社会に映し出させてきた。学校だけでなく企業、地域、海外にも広がり。いまも共同体の結びつきを強める役割を果たしている”と書かれていました。

私が心に残った一説は、奄美大島と沖縄本島の間にある島での記事でした･････。

『その村では、〇〇村体育会(町体)があり、43種目に1390人が参加するそうです。地域ごとの伝統の踊りは定番種目。立派な施設はなく、人々が大会を皆で運営し、参加し応援するそうです。アメリカの精神医学の研究で“幸せのカギ”は、良き人間関係とわかってきた。スポーツでなくてもいい。世代や立場が違っても一緒に楽しめ、人と人をつなげるもの。文化の価値はそこにある』

この記事を読んだ後、運動会について改めて考えると、様々な姿を見せていた子どもたちでしたが、お家の方、来賓の方、地域の方、修了児の皆が、一緒に楽しめ、人と人をつなげる“みんなのうんどうかい”であったことが、子どもたちにとって大事だったのではないかと思いました。それは、勝敗も必要かもしれませんが、その子がその子らしく過ごし、その姿を皆で受け入れ合い、温かく楽しそうな雰囲気の中で過ごすことが、何よりも素晴らしいと思うからです。幸せのカギは良き人間関係！その中で、子どもたちが育っていかれるようにしたいですね。

11月の教育目標

◇年少組　・自分なりの思いやイメージを、動きや言葉で表しながら遊ぶことを楽しむ。
・様々な活動に興味をもち、自分なりに参加して楽しむ。
・秋の自然に興味・関心をもち、自然物を使って遊んだりすることを楽しむ。

◇年長組　・遊びや皆でする活動を通して、学級の友達とのつながりを感じる。
・一つのことを皆で取り組む中で、互いに認め合いながら活動を進める気持ちをもつ。
・自分たちで作ったもので遊んだり、いろいろな人に遊んでもらったりするうれしさを感じる。
・季節の変化に気付いたり、自然物を遊びに取り入れたりして遊ぶ楽しさを味わう。